

## 2006年2月期 第1四半期財務・業績の概況（非連結）



2005年6月21日

(コード番号: 3354 JASDAQ)

会社名 チェルト株式会社

(URL <http://www.certo.jp/>)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長 西谷 義晴 TEL:(043)351-2511  
責任者役職・氏名 常務取締役管理本部長 奥村 市助

### 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容)  
一部の引当金及び税金費用の計上基準に簡便的な方法を採用しております。

最近事業年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無

### 2. 2006年2月期第1四半期財務・業績の概況（2005年2月21日～2005年5月20日）

(1) 経営成績の進捗状況 (記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2006年2月期第1四半期	11,054	( )	423	( )	431	( )	257	( )
(参考)2005年2月期	41,602	(18.3)	2,127	(18.2)	2,083	(12.5)	1,211	(30.1)

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
2006年2月期第1四半期	39 06	
(参考)2005年2月期	193 66	

(注) ( )内は対前年同期増減率であります。

ただし、四半期財務・業績の概況の開示は、2005年2月期第3四半期より実施しているため、2006年2月期第1四半期の対前年同期増減率は記載しておりません。

#### [経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期は、昨年第3四半期以降の原油価格の高騰を原因とした化成品等の調達価格上昇の影響を受けましたものの、売上高・営業利益共に年間予算達成に向け、堅調に推移しております。当期は、当社の事業領域であるB2B「バックオフィスサポート事業」の更なる成長に向け、イオングループ外（アウトマーケット）における顧客開発を重点課題として取り組んでおり、大手家具チェーン店に対する什器導入をはじめ、購買代行の提案を積極的に展開致しております。また、リフレッシュメント事業は、ロケーションに適した品揃えの強化と品切れ時間管理を徹底し、中身飲料の売上高向上を推進すると共に、グリーン（観葉植物）分煙機など、トータルな提案力強化に取り組んでおります。また、新規事業の取組みでは、ユニフォームサービス事業及び施設管理サービス事業構築のための専任部門を設置し、事業開始に向けて取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期までの業績は、売上高11,054百万円、営業利益423百万円、経常利益431百万円、四半期純利益257百万円となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
2006年2月期第1四半期	19,619	9,567	48.8	1,449 66
(参考)2005年2月期	20,573	9,526	46.3	1,439 68

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2006年2月期第1四半期	477	157	170	5,909
(参考)2005年2月期	2,062	166	1,638	6,715

[ 財政状態の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末における未収仕入割戻金残高の入金等により、前事業年度末に比べ953百万円減少し、19,619百万円となりました。

負債につきましては、支払サイトの短縮による買掛金の減少、法人税等の納付による未払法人税等の減少等により、前事業年度末に比べ995百万円減少し、10,052百万円となりました。

資本につきましては、前事業年度末に比べ41百万円増加し、9,567百万円となりました。主な要因は、当第1四半期会計期間に、四半期純利益257百万円を計上したほか、前事業年度決算の利益処分により、株主配当198百万円及び役員賞与24百万円を実施したことによるものです。

[ 参 考 ]

2006年2月期の業績予想(2005年2月21日～2006年2月20日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	22,170	1,030	609
通期	46,100	2,381	1,410

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 209円 91銭

[業績予想に関する定性的情報等]

ビジネスサプライ事業の中心商品でありますポリ袋を取り巻く環境には厳しいものがありますが、包装資材としての代替品の研究・開発やマイバスケット販売など、新たなマーケット創造のチャンスでもあります。

こうした現状認識のもと、各種施策に取り組み、上記の業績見通しとしております。

現時点においては、2005年4月6日に発表した、2006年2月期の業績予想に、変更はありません。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔添付資料〕

1. 四半期貸借対照表

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第1四半期 (2005年5月20日)	前事業年度の要約貸借対照表 (2005年2月20日)
	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>		
<b>流動資産</b>		
1. 現金及び預金	5,909	6,715
2. 受取手形	757	976
3. 売掛金	5,078	4,627
4. たな卸資産	1,370	1,329
5. 関係会社預け金	4,800	4,800
6. その他	429	902
貸倒引当金	4	4
流動資産合計	18,341	19,346
<b>固定資産</b>		
(1) 有形固定資産	370	325
(2) 無形固定資産	10	12
(3) 投資その他の資産		
1. 投資有価証券	854	844
2. その他	47	49
貸倒引当金	5	5
投資その他の資産合計	896	888
固定資産合計	1,278	1,226
資産合計	19,619	20,573

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第 1 四半期 (2005年5月20日)	前事業年度の要約貸借対照表 (2005年2月20日)
	金 額	金 額
<b>(負債の部)</b>		
<b>流動負債</b>		
1. 買掛金	8,949	9,290
2. 未払法人税等	183	756
3. 賞与引当金	37	2
4. その他	612	734
流動負債合計	9,783	10,783
<b>固定負債</b>		
1. 繰延税金負債	213	209
2. 退職給付引当金	3	-
3. 役員退職慰労引当金	51	53
固定負債合計	268	263
<b>負債合計</b>	10,052	11,047
<b>(資本の部)</b>		
資本金	1,222	1,222
資本剰余金		
資本準備金	1,463	1,463
資本剰余金合計	1,463	1,463
<b>利益剰余金</b>		
1. 利益準備金	114	114
2. 任意積立金	5,900	4,900
3. 四半期(当期)未処分利益	511	1,475
利益剰余金合計	6,525	6,490
<b>その他有価証券評価差額金</b>	355	349
<b>資本合計</b>	9,567	9,526
<b>負債及び資本合計</b>	19,619	20,573

2. 四半期損益計算書

(単位：百万円未満切捨)

科 目	当第 1 四半期 (自 2005 年 2 月 21 日 至 2005 年 5 月 20 日)	前事業年度の要約損益計算書 (自 2004 年 2 月 21 日 至 2005 年 2 月 20 日)
	金 額	金 額
売上高	11,054	41,602
売上原価	10,226	38,052
売上総利益	828	3,550
販売費及び一般管理費	404	1,423
営業利益	423	2,127
営業外収益	7	32
営業外費用	-	76
経常利益	431	2,083
特別利益	0	16
特別損失	-	16
税引前四半期(当期)純利益	431	2,082
税金費用	174	870
四半期(当期)純利益	257	1,211
前期繰越利益	253	263
四半期(当期)未処分利益	511	1,475

### 3. 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨)

	当第1四半期 (自 2005年2月21日 至 2005年5月20日)	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー計算書 (自 2004年2月21日 至 2005年2月20日)
区 分	金 額	金 額
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期(当期)純利益	431	2,082
減価償却費	23	51
貸倒引当金の減少額	0	7
賞与引当金の増加額	35	0
退職給付引当金の増加額	3	21
役員退職慰労引当金の増加額(減少額)	1	11
受取利息及び受取配当金	7	30
退職給付制度の改定に伴う損失	-	15
売上債権の増加額	231	885
たな卸資産の増加額	41	563
未収入金の減少額(増加額)	476	333
仕入債務の増加額(減少額)	340	1,146
役員賞与の支払額	24	18
その他	59	51
小 計	263	1,541
利息及び配当金の受取額	10	27
確定拠出年金制度への移行等に伴う支払額	-	171
法人税等の支払額	751	4
法人税等の還付額	-	668
営業活動によるキャッシュ・フロー	477	2,062
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
関係会社預け金の預入れによる支出	3,600	3,300
関係会社預け金の払戻しによる収入	3,600	3,300
有形固定資産の取得による支出	157	173
その他	-	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	157	166
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	-	1,861
配当金の支払額	170	150
その他	-	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	170	1,638
<b>現金及び現金同等物の増加額(減少額)</b>	805	3,534
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	6,715	3,181
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	5,909	6,715

#### 4. 四半期販売実績

(単位：百万円未満切捨)

事業部門の名称	当第1四半期 (自2005年2月21日 至2005年5月20日)	前事業年度 (自2004年2月21日 至2005年2月20日)
(ビジネスサプライ事業)	(5,717)	(20,782)
ストアサービス(店舗資材)	3,778	13,057
オフィスサービス(事業所資材など)	134	792
素材販売(印刷用紙、食品原料など)	866	3,597
パッケージ販売(商品パッケージなど)	937	3,334
(リフレッシュメント事業)	(5,337)	(20,820)
中身売上(清涼飲料など)	4,297	16,975
中身売上(玩具)	620	1,877
機械売上	371	1,728
販売受入手数料	48	238
合計	11,054	41,602

(注) 1. 事業部間の取引はありません。

2. 当社は、前事業年度第3四半期より四半期財務・業績の開示を行っているため、前年同四半期数値及び増減は記載しておりません。